

地域医療連携とは

- 地域の医療機関が、それぞれの有する機能を有効活用
- 一つの病院が、全ての医療機能を提供するのではなく、医療機関の持っている特有の機能を発揮。紹介や逆紹介、医療機器の共同利用。



「地域完結型医療」

住民が地域で継続性のある適切な医療を受けられる

具体的な地域医療連携の動き

09年2月 『公立病院改革プラン』策定

(地域医療における役割、南空知地域との連携等)



09年11月 第1回 江別・南空知4町医療連携協議会開催

(町立南幌・町立長沼・栗山赤十字・由仁町立・江別市立の5医療機関で組織)

【10年2月に第2回、10年7月に第3回、11年11月に第4回を開催】



12年当初 栗山町および栗山赤十字病院より医師派遣要請あり



12年3月 江別市と栗山町で『**地域医療に関する協定**』を締結



12年4月 協定をもとに、栗山赤十字病院に総合内科を(週1回)派遣
【毎週木曜日午前の外来に一名を定期派遣】

江別市立 病院

病院名	距離	所要時間(車)
町立南幌病院	12km	15分
町立長沼病院	19km	25分
栗山赤十字病院	25km	35分
由仁町立病院	27km	40分



江別市と栗山町 『地域医療に関する協定』（概念図）

江別市立病院



医師派遣

患者紹介

患者逆紹介

栗山赤十字病院



電子カルテを中心とした
地域連携システム



患者データ
(画像・検査・受診歴等)

派遣医師が地方医療機関で診断 受診患者を江別市立病院に紹介

一定の治療後地方医療機関に逆紹介 (急性期→回復期 等へ)

江別市立病院からの医師派遣日数

※総合内科医を派遣

20年度実績		1年間
	岩内協会病院	10日間
	市立美唄病院	44日間
	利尻島国保病院	12日間
	道立天売診療所	3日間
	道立羽幌病院	16日間
	道立紋別病院	18日間
	市立赤平病院	20日間

23年度実績		1年間
	留萌市立病院	5日間

24年度実績(10月まで)		1年間
	栗山赤十字病院	29日間
	広域紋別病院	10日間
	公立志津川	30日間
	八雲総合病院	3日間

※医師の負担が大きすぎたため一時派遣を停止

江別市立病院の課題（一部）

- ・ 江別市民は、札幌の病院へ流出する傾向にある
- ・ 総合内科医が今後継続出来るのか？
- ・ 医師の外来・入院診療の他に、他地域へ支援することによる医師負担の増加が懸念される

IV 政策提言



提言内容

● かかりつけ医の普及

- 自治体病院の担うべき役割の明確化
→他の医療機関との役割分担し、
相互に連携し合い医療提供体制を形成

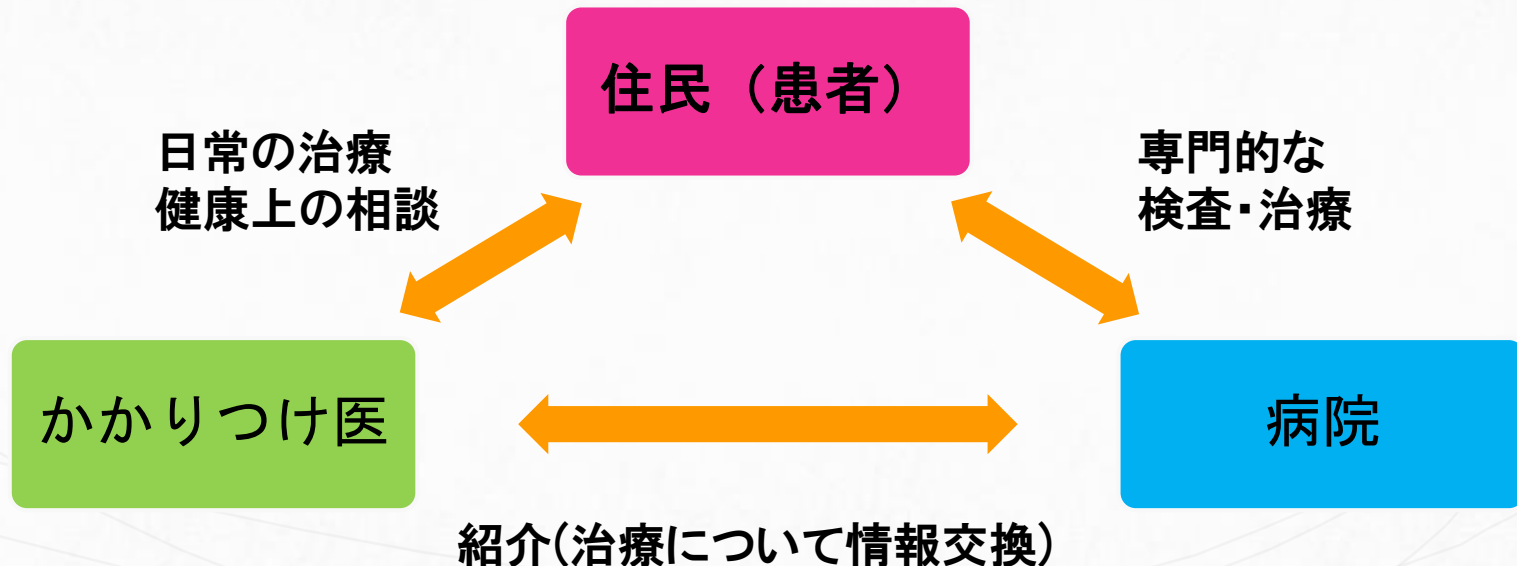
● 総合内科の普及

- 地域を超えた医療機関との連携

4-1 かかりつけ医

かかりつけ医とは

- 日常的な診療や健康管理等を行う身近な診療所やクリニックなどの医師
- 健康状態の把握による適切な処置
- 検査が必要な場合、医療機関の紹介



メリット

患者側

- 大病院に比べ待ち時間が短く、さらにじっくり診察してくれる
- 適切な医療機関の紹介
- 家族の病状・病歴・健康状態を把握しているので、すぐに対応してくれる



病院側

- 病院への患者集中の緩和
- 医師の負担軽減
- 病院の持つ最適なサービスの提供

しかし...

**「かかりつけ医」は
日本で普及していない**

普及していない理由



- **フリーアクセス**

(従来の日本の医療システム)

- **大病院志向**

- **国民のかかりつけ医の未認知**

**かかりつけ医は、
専門医と患者の中間役的存在**

総合内科医

↳ 主として内科全般の診察。「よくわからない症状の専門家」で、全身をバランスよく総合的に診察。場合によっては、臓器別専門医と連携して主治医としての役割を持つ。

～ メリット ～

- ・ 総合的診療が可能（幅広い対応ができる）
→必要に応じて専門医を紹介（院内の連携も取れる）
- ・ 初診で全身を診てもらう
- ・ 専門医は専門分野に専念できる→専門医の負担減！

総合内科医育成のため...

**臨床研修プログラムに総合内科を
必修化（義務化）する！**

新臨床研修制度の改正案

現在

1年目

2年目

(科)	内科	外科	救急	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択科目
(ヶ月)	6	3	3	1	1	1	1	8

必修

改正案

1年目

2年目

6ヶ月

(科)	内科	外科	救急	小児科	産婦人科	精神科	地域医療・ 総合内科	選択科目
(ヶ月)	6	3	3	1	1	1	7	8

必修

2年半の研修制度へ!

二つの提言が普及すると...

- ・ **患者に適切な診療段階の提供**
 - 症状に応じた処置
- ・ **医師（勤務医）負担の軽減**
 - 江別市立病院の様な事例を防げる
- ・ **他地域との連携と共に病院内連携の形成**
 - 医療システムの充実化

参考資料

江別市立病院の内科医総退職問題

<http://www.ebetsu.jp/article/20061122.html>

江別市立病院のHP

<http://www.ebetsuhospital.jp/index.html>

金川・藤田・山本（2010）

『地域医療再生と自治体病院「公立病院改革」を検証する』自治体研究社

厚生労働省白書

<http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/07/dl/o102-b.pdf>

全国自治体病院協議会HP

<http://www.jmha.or.jp/>

総務省HP

<http://www.soumu.go.jp/>

平井愛山ほか（2009）『医療再生はこの病院・地域に学べ！』洋泉社

『北海道新聞』 2006年8月17日 「内科系常勤医ゼロに？」

2006年9月3日 「過酷勤務-燃え尽きた-」

2012年3月15日 「江別市立病院が内科派遣」